



Title	阪大法学 73巻 4号 既刊目次/奥付
Author(s)	
Citation	阪大法学. 2023, 73(4)
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/93279
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

既 刊 目 次
第73巻 第3号 (通巻第345号)

論 説

納骨堂経営許可等取消訴訟

——大阪高等裁判所への意見書および解題——……………野呂 充

誤振込みと財産犯

——山口地判令和5年2月28日裁判所 webによせて——……………品田 智史

戦後刑事控訴制度の成立と展開 (1)……………胡 逸維

文化芸術助成の憲法的統制に関する一考察 (2・完)

——「場」の性質と専門職をめぐる表現の自由論に着目して——……………竹下 諄

プラットフォーム事業者による

コンテンツ・モデレーションと表現の自由 (1)

——アメリカの法理論を素材として——……………上本 翔大

憲法上の概念の解釈における変化に関する一考察 (2・完)

——基本法6条1項の家族概念解釈の変化を対象とした

構造と動態の分析——……………宇多鼓次朗

独占禁止法におけるプラットフォーム事業者をめぐる

市場画定のあり方……………野口宗一郎

研究ノート

民事訴訟法九一条の構造・再考 (6・完)……………高原 知明

資 料

研究会：ヨハネス・マーキング教授の

学術的・実務的活動について……………松本 和彦
高田 篤

マーキング学説の今日的重要性

——基本法44条における調査権のドグマティック——……………磯村 晃

集会の自由の現在

——フラポート判決と集会の場の選択権——……………門田 美貴

大阪大学法学会役員 (50音順)

評議員	長	武青	田木	邦大	宣也	評	議	高橋	智也	也明	評	議	藤本	利和	一彦
評	員	青	竹	大美	佳	議	員	高	知	明	議	員	松	健	彦
員	員	エル	バ	規	子	員	員	瀧	直	大	員	員	松	岳	一
評	長	久	ル	智	見	評	員	武	啓	之	員	員	的	和	彦
員	員	大	テ	延	剛	員	員	田	亮	佑	員	員	三	か	り
評	員	大	イ	直	人	員	員	中	成	樹	員	員	水	お	弘
員	員	乙	ベ	龍	進	員	員	神	一	馬	員	員	阪	佳	子
評	員	片	リ	之	斗	員	員	園	兼	彦	員	員	谷	郁	男
員	員	上	グ	悠	巨	員	員	田	将	紀	員	員	西	規	太
員	員	龜	ー	健	太	員	員	田	元	里	員	員	田	良	士
員	員	北		大	作	員	員	田	真	穗	員	員	老	智	郎
員	員	北	池	逸	維	員	員	村	瑞	一	員	員	川	健	太
員	員	久	口	未	来	員	員	山	竜	裕	員	員	仁	太	士
員	員	胡	岡	秀	成	員	員	井	吉	夫	員	員	田	お	り
員	員	小	田	一	成	員	員	木	恒	斗	員	員	津	か	佳
員	員	高	口	智	史	員	員	杉	健	充	員	員	名	美	裕
員	員	坂	岡	ま	な	員	員	呂	佳	也	員	員	青	吉	成
員	員	品	水	希	子	員	員	川	真	彦	員	員	名	秀	充
員	員	島	井	裕	之	員	員	本	智	輔	員	員	高	綾	子
員	員	清	田	陽	男	員	員	井	康	良	員	員	野	智	良
員	員	高	橋	奈	吉	員	員	田	雅	太	員	員	山	綾	良
員	員	高	橋	奈	吉	員	員	福	雅	樹	員	員	林	智	良
員	員	高	橋	奈	吉	員	員	福	雅	樹	員	員	山	智	良
員	員	高	橋	奈	吉	員	員	福	雅	樹	員	員	山	智	良

令和5年11月30日 発行

定価 本体800円 (税別)

編 集 兼 大 阪 大 学 法 学 会
 発 行 人

代 表 者 武 田 邦 宣

〒560-0043 豊中市待兼山町1番6号

大阪大学大学院法学研究科内

電06(6850)5178

印 刷 所 中 村 印 刷 株 式 会 社

〒601-8133 京都市南区上鳥羽薬田町55

発 行 所 大 阪 大 学 法 学 会

〒560-0043 豊中市待兼山町1番6号

大阪大学大学院法学研究科内

電06(6850)5178